

ちくしのクリップ

2/16

さいがいじ ちいき たいおう まな
災害時、地域の対応を学ぶ

二日市コミュニティ運営協議会地域防災研修会

二日市コミュニティ運営協議会による防災研修会が市役所で開催され、学習の機会として市内の各コミュニティ運営協議会や消防団など約150人が参加しました。

講師に竹内 裕希子さん(熊本大学大学院准教授)を招き、熊本地震の課題を踏まえ、急な避難所運営などに備えて「地区防災計画」の必要性や、「コミュニティ主役の地域防災」として平常時にどう備えるか講演がありました。参加者は多くの実例を真剣に聞いていました。



熊本地震の事例から講演が行われました

2/17

す ちいき
住んでいる地域を
いまいち ど かくにん
今一度確認する

萩原区防災講習会

平成30年7月豪雨で土砂崩れなどの被害が発生した萩原区で地域の現状と防災について講習会が開催され、約70人が参加しました。はじめに、萩原子ども会の活動で豪雨災害や防災などについて調査・研究を行った子どもたちがその結果を発表しました。また、その後には筑紫野太宰府消防本部の職員が救助に当たった災害を例に自助・共助・公助の説明を行い地域のハザードマップを今一度確認するように呼びかけました。



災害時の避難方法など調査した結果を発表する子どもたち

2/8

わら こころ ひと
笑いがみんなの心をつにする

天拝いこいの館 柳家さん光独演会

天拝いこいの館(市内武蔵)で、市内牛島出身の落語家、柳家 さん光さんの独演会が開催されました。この独演会は、筑紫野市社会福祉協議会が、運営する天拝いこいの館を多くの人に利用してもらうため、また筑紫野市出身のさん光さんを応援するために開催したものです。

さん光さんは、落語の楽しみ方の説明後「転失気(てんしき)」など3席を披露。最後には南京玉すだれも披露し、満員御礼となった客席は大喜びでした。



そばをすする音を出す練習を観客と一緒にし、大盛り上がり

2/11

いま
今までも これからも
みんなで考える

NPO法人筑紫野市「障害」児・者問題を考える会40周年

筑紫野市「障害」児・者問題を考える会(考える会)が設立から40年を迎え、二日市東コミュニティセンターで記念行事を開催しました。教育関係者をはじめ関わってきた多くの皆さんが参加しました。

式典では、基調講演のほか、これまでの40年間を振り返るとともに、考える会の活動の方針について意見交換を行い、これからの一年間を今後の活動を考える前向きなものにすることを確認しました。



今後の考える会の方向性について話す理事長の大島 律子さん